

地域を支える拠点と施設空間づくりセミナー

目からうるこの空間づくり 団塊の世代が高齢者施設に求める暮らしとデザイン

今回のセミナーでは、高齢者施設を取り上げます。

介護保険制度の創設期は、介護を変える建築のあり方が大いに注目されました。しかし、ここ数年はサービス付き高齢者向け住宅や住宅型有料老人ホームが急増しているにもかかわらず、時代をリードするような高齢者施設の登場が頭打ちになっています。

その理由はいくつか指摘できます。まず、近年、施設整備に対する補助金が削減されていること、介護報酬の削減で、従来よりも厳しい経営を余儀なくされていること、さらに、少子化に伴う介護の人手不足など、厳しい状況下で、事業主と設計者の協働が十分に進まないことが挙げられます。

高齢者施設の計画の難しさは、デザインの良し悪しだけではなく、入居者、スタッフ双方の視点から使いやすい空間を導かなければならない点にあります。特に、利用者ニーズはしばしばスタッフのニーズと矛盾します。例えば、利用者のプライバシーを守ることは、スタッフからは、見守りのしやすさを阻害します。高齢者施設を取り巻く環境が厳しいなかで、入居者、スタッフの相反するニーズを解き、これからの団塊世代が求めるライフスタイルに対応するには、事業者、設計者にどのような考え方や工夫が求められるのでしょうか。

セミナーでは、これから高齢者施設をどのように計画すべきか、特に見守りと自律の視点から、三浦研氏（京都大学）に概説をいただきます。続いて、20年に渡るベネッセケアスタイルの介護ホーム運営から生まれた、高齢者が心地よく暮らすための環境づくりの「コツ」を65の共通言語にまとめ、2017年度グッドデザイン賞を受賞された加藤イオ氏（ベネッセスタイルケア）に、介護スタッフと共にを行うワークショップによる環境創造の方法とその効果について紹介していただきます。

次に、従来にない斬新な環境デザインが高く評価され、2017年度の医療福祉建築賞を受賞された有料老人ホーム「新」の篠崎一弘氏（有料老人ホーム「新」統括施設長）から、家事やDIY、園芸、読書など、多様な活動の仕掛けを導入した意図や使われ方の実際についてご紹介いただきます。

最後に、スタッフからも使いやすく、かつ、入居者の多様な居場所にも配慮した斬新な空間を次々と手がけられている平野勝雅さん（大建met）に、どのような点に着眼して高齢者施設を設計しているのか、設計事例とともに紹介していただきます。

各講師の話をもとに、コーディネータの司会の下に、講師の方々、セミナーの参加者による対話やQ&Aを行い、問題点を整理し、団塊世代がもつめるこれからの高齢者施設の運営、計画、デザインに具体的に役に立つ情報や技術を紹介します。

【コーディネータ】三浦 研 氏



京都大学大学院 教授、工学博士

広島県生まれ。京都大学大学院工学研究科 環境地球工学専攻 博士後期課程 修了。2013年大阪市立大学大学院教授、2016年京都大学大学院教授。専門分野は介護施設、医療福祉建築などを対象とした建築計画、環境行動論。著書に「個室・ユニットケアで介護が変わる」(中央法規出版)、「ケアを実践するしかけ」(岩波書店)他

【講師】加藤 イオ 氏



株式会社 ベネッセスタイルケア

東京都生まれ。東京藝術大学美術学部建築科卒業。2002～2009 乾久美子建築設計事務所。2009～2012 京都造形芸術大学非常勤講師。2012～ベネッセスタイルケア勤務。同社が運営する高齢者施設を設計・プロデュース。2017「その方らしさに寄りそった環境づくりの手掛かり Benesse Method 01」にてグッドデザイン賞受賞

【講師】篠崎 一弘 氏(右) 横木 淳平 氏(左)



篠崎 一弘 氏

社会福祉法人 丹緑会 常務理事 統括施設長
茨城県生まれ。2003年4月 社会福祉法人丹緑会(にろくかい)事務員。2007年4月 同法人 事務長。2017年4月 現職

横木 淳平 氏

社会福祉法人 丹緑会 介護付有料老人ホーム 新 施設長
茨城県生まれ。2003年4月 医療法人宮田医院 介護老人保健施設ごぎょうの里 介護員。2006年4月 同施設 介護長。2015年4月 現職

【講師】平野 勝雅 氏



有限会社 大建met 代表

岐阜県生まれ。名古屋工業大学卒業後、2000年大建met 入社。2013年取締役。2015年代表。2011年「もやいの家瑞穂」で2011年中部建築賞、2013年医療福祉建築賞受賞 / 2017年「風の街みやびら(CAn&JV)」で医療福祉建築賞。2017年日本建築学会作品選奨 / 2017年「関市刃物ミュージアム回廊設計プロポーザル(浦野設計&JV)」で最優秀賞受賞

日時:2018年
9月11日(火)
13:30～17:10

場所	大建工業 本社大阪事務所 会議室1・2
住所	〒530-8210大阪府大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワー・ウエスト14F
主催	特定非営利活動法人 NPO環境持続建築
共催	大建工業株式会社

| セミナー開催のご案内 |

開催日時

2018年9月11日(火) 13:30 ~ 17:10

〒530-8210 大阪府大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワー・ウエスト14F

プログラム

13:00 ~	受付開始
13:30 ~ 13:35	開会・あいさつ 佐々木勝年氏
13:35 ~ 14:15	講演 「高齢者施設の今日的課題」 三浦研氏
14:15 ~ 14:55	講演 「その方らしさに寄りそった環境づくりの手掛かり」 加藤イオ氏
14:55 ~ 15:05	休憩
15:05 ~ 15:45	講演 「お年寄りが元気になるハードとソフト」 篠崎一弘氏、横木淳平氏
15:45 ~ 16:25	講演 「福祉建築を開いていく仕掛け」 平野勝雅氏
15:25 ~ 16:35	休憩
16:35 ~ 16:50	討論・対話
16:50 ~ 17:10	プレゼンテーション 大建工業株式会社

申し込み方法

FAX.06-6205-7068

またはメール h-uefune@daiken.co.jp

問合せ先 大建工業株式会社 市場開発部 上船(うえふね) 携帯.090-7360-6213 TEL.06-6205-7214

締切
2018年9月7日(金)

対象 事業主、大学研究者、設計事務所、建設会社設計部、工務店設計部など
 募集人数 先着50名 名刺をご用意ください 参加費無料 (ご記入の上FAXまたはmailよりお申込みください。)
 粗品をご用意しております。 セミナー終了後、別会場にて交流会(ケータリング)を企画しています。
 ご参加できなくなった場合は担当者へ直接ご連絡下さい。
 ご提供いただきました個人情報については、本セミナーへのご参加の確認ならびに今後のセミナー等へのご案内以外に利用することはありません。

●参加申込書

貴社名	(計 名)		部署名
御名前	フリガナ		
連絡先	TEL		FAX
	E-mail		<input type="checkbox"/> 今後、FAXでの案内不要の場合、チェックのうえご返送ください。



アクセス

地下鉄 / 京阪ご利用の場合
 京阪中之島線「渡辺橋」・・・12番出口直結
 地下鉄四つ橋線「肥後橋」・・・4番出口直結
 地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」7番出口より徒歩5分

JRご利用の場合
 JR「大阪」駅・・・桜橋口より徒歩11分
 JR東西線「北新地」・・・11-5番出口より徒歩8分

お問い合わせ

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

大建工業株式会社
市場開発部

TEL. 06-6205-7214

FAX. 06-6205-7068

3Fホールよりエレベーターで14Fへお越し下さいませ。
 フェスティバルタワー(フェスティバルホール)の向かいのビルです。

地域を支える拠点と施設空間づくりセミナー

21世紀の医療建築を考える

病気に対抗する「病院」から健康を回復する「健院」へ

これまで我々が「病院」と呼んできた建築形態は 医学・工学の専門技術を「集中化」した大規模治療工場型をめざして、20世紀後半に成立しました。21世紀の現在、病院医療では高齢患者の増加にもかかわらず、在院期間短縮が求められ、さらなる効率化が要望されています。

しかし、療養環境が治療に寄与することが実証されたいま「病気の館」ではなく、癒しの環境である「健康な館」すなわち「健院」に移行することが医療現場でも欠かせません。さらに 予防を中心にした各種の「健院」群を住居や街の中に潜ませれば、病院に行かなくても病気の予防が可能で健康が回復できます。少子超高齢社会においては、多世代交流が必須で、在宅医療・看取りを含めた地域包括ケアに向けて、施設から住居への回帰を実現し、適切な周辺のみちづくりを達成する必要があります。昨今では、このような事例が全国各地で次々と出現しています。

一方、病院医療の世界でも個室化が求められており、差額ベッドなしでも病院経営を健全化する試みも実施されています。更に、これまでのように医療・看護行為やその支援業務の機能を最優先にした建物を造っても、その環境が劣悪で仕事が身に入らないのでは、患者へのサービス低減につながります。従って、業務にやる気を生むような環境が必要です。

このような今後の病院開発の背景を捉え、セミナーでは、施設の事業主や設計者等を対象に、学識経験者の建築計画理論からみた課題説明、これらの建築設計を得意とする設計事務所からの事例解説、そして、コーディネータの司会で、講師の方々、セミナー参加者を含めた討議やQ&Aを通して問題点を整理し、具体的で役に立つ情報や技術の紹介をいたします。

【コーディネータ】長澤 泰 氏



東京大学名誉教授、工学院大学名誉教授

東京大学建築学科卒業、芦原義信建築設計研究所所員、厚生省病院管理研究所研究員、北ロンドン工科大学医療施設研究部門留学・英国学術認定委員会大学院学位取得、厚生省病院管理研究所主任研究官、東京大学工学部教授、工学院大学教授・建築学部長・副学長等を経て現職。国際病院設備連盟会長、日本医療福祉建築協会会長等を歴任。専門は建築計画学。一級建築士・インテリアプランナー。

【講師】宮本 一平 氏



(株)山下設計 建築設計部門第1設計部 部長
武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業
一級建築士

1991年 (株)山下設計入社
病院設計実績：
済生会鴻巣病院・国立病院機構熊本医療センター・川崎幸病院・仙台市立病院・加賀市医療センター・埼玉石心会病院・高松市みんなの病院・他

【講師】関根 裕司 氏



有限会社アルボス 代表取締役
千葉大学工学部建築学科卒業、一級建築士

(株)桑田建築設計事務所、(株)ワークショップを経て、(有)アルボスを設立。

日時: 2018年
9月26日(水)
13:30 ~ 17:00

場所

DAIKEN AKIHABARA TECHNICAL SPACE
DAIKEN 秋葉原テクニカルスペース

住所

〒101-8950 東京都千代田区外神田三丁目12番8号
住友不動産秋葉原ビル3F

主催

特定非営利活動法人NPO環境持続建築

共催

大建工業株式会社

セミナー開催のご案内

開催日時

2018年9月26日(水) 13:30 ~ 17:00

〒101-8950 東京都千代田区外神田三丁目12番8号 住友不動産秋葉原ビル3F

プログラム

13:00 ~	受付開始
13:30 ~ 13:35	開会・あいさつ 佐々木勝年氏
13:35 ~ 14:00	講演「21世紀の医療建築」長澤泰氏
14:00 ~ 14:40	作品紹介「全個室の市立病院 加賀市医療センター」宮本一平氏
14:40 ~ 14:50	休憩
14:50 ~ 15:30	作品紹介「医療コミュニティとしての医院建築」関根裕司氏
15:30 ~ 16:40	討論・対話
16:40 ~ 17:00	プレゼンテーション 大建工業

申込み方法

FAX.03-5296-4057

またはメール market-development@daiken.co.jp

問合せ先 大建工業株式会社 市場開発部 TEL.03-6271-7873

締切
2018年9月14日(金)

対象 事業主、大学研究者、設計事務所、建設会社設計部、工務店設計部など
 募集人数 先着50名 名刺をご用意ください 参加費無料 (ご記入の上FAXまたはmailよりお申込みください。)
 ご参加できなくなった場合は担当者へ直接ご連絡下さい。
 ご提供いただきました個人情報については、本セミナーへのご参加の確認ならびに今後のセミナー等へのご案内以外に利用することはありません。

●参加申込書

貴社名	(計 名)		部署名
御名前	フリガナ		
連絡先	TEL	FAX	
	E-mail	<input type="checkbox"/> 今後のセミナー・イベント等の案内を希望する	



アクセス

- JR線「秋葉原駅」…………… 電気街口より徒歩3分
- つくばエクスプレス「秋葉原駅」…… 出口A3より徒歩5分
- 日比谷線「秋葉原駅」…………… 出口2より徒歩7分
- 銀座線「末広町駅」…………… 出口3より徒歩4分

お問い合わせ

キノウを超える、ミライへ。



大建工業株式会社
市場開発部

TEL.03-6271-7873
FAX.03-5296-4057